



そこを
たがやして
畑にする

入植した人たちは
自分たちで
食料を手に入れる
しかなかったからね

ボクたちくらい
子どもも働いて
いる…

子どもの力も
大切な労働力
だったんだよ



平和地区に
神様をまつた
小さなほこらが
残されていてね

そのほこらには
明治2年に
福玉仙吉が
入植して
宇佐八幡という
神様をまつた
書かれていたんだ

じゃあその人が
西野に最初に
住んだ人なの？

ごめん、詳しいことは
よくわからないんだ
そのころボクは
発寒のもつと下流に
住んでいたから…



虫って
大きらい
よ!!



その上
カやブヨなど
害虫に悩ま
される



本当に
つらく
苦しい
仕事な
んだ



この土地は
アイヌの人々が
シカなどの狩りや
サケなどの魚を
とったり、木の実、
山菜などの採集や農耕
などをしていたんだ

そこに何人かの
和人が入植する
ためにやって来た
みたい
なんだ



畑で
育ちはじめた
農作物を
シカに食べられ
ることもあつ
たんだ



クマや
オオカミに
出会うことも
多かったし



グアッ

うわっ



さあ
西野の
まちづくり
がはじまっ
たよ!!



木を切る
音がア



笹をかり
木を切り
たおし

その
木の根や
大きな石を
とりのぞく



ものすごい
苦勞をして
畑を作って
いったん
だ…

そうね…